

29 全 事 研 第 1 号
平成 29 年 4 月 1 日

各都道府県教育委員会教育長 様
全国市区町村教育委員会教育長 様
全国公立小・中・特別支援学校長 様
教 育 関 係 者 様

全国公立小中学校事務職員研究会
会 長 鳥 本 安 博
第 49 回全国公立小中学校事務研究大会
実行委員長 奥 雲 直 美

第 49 回全国公立小中学校事務研究大会 (京都大会) の開催について (依頼)

陽春の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会の研究活動に対しまして、御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、第 49 回全国公立小中学校事務研究大会を開催要項のとおり、京都市において開催することになりました。

つきましては、この研究大会を盛大かつ実りあるものにしたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

第49回全国公立小中学校事務研究大会（京都大会）

開 催 要 項

- 1 大会テーマ 「地域協働による学校づくりと地域づくり」
～「京から明日」 古都から奏でる未来～
- 2 目 的 これからの学校は、未来を担う子どもの「生きる力」を確実にはぐくむために「地域とともにある学校」への転換が求められている。そのためには、子どもの育成の当事者として、学校・家庭・地域がそれぞれの責任と役割を果たす地域協働が必要となる。本大会では、「地域協働」を軸に学校の在り方や役割、そのための学校事務機能並びに事務職員の役割について追究する。
- 3 主 催 全国公立小中学校事務職員研究会
- 4 共 催 近畿公立小中学校事務職員研究会
- 5 主 管 京都市立学校事務研究会
京 都 市 教 育 委 員 会
- 6 後 援 文部科学省 全国都道府県教育長協議会 京都府 京都府教育委員会
京都市 指定都市教育委員・教育長協議会
全国市町村教育委員会連合会 全国都市教育長協議会 全国町村教育長会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 京都市小学校長会 京都市立中学校長会
京都市立総合支援学校長会 公益社団法人日本PTA全国協議会
京都府PTA協議会 京都市PTA連絡協議会 公益財団法人日本教育公務員弘済会
公益財団法人日本教育公務員弘済会京都支部

7 期 日 平成29年8月2日（水）～8月4日（金）

8 日 程

	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	16:30
8月2日（水） 全体会 （1日目）	受付	開 会 式	テ オ リ シ エ ン	文部科学省 行政説明	昼食 アトラクション	全体研究会
	9:00	9:30		12:30	13:30	16:30
8月3日（木） 分科会 （2日目）	受付		分科会討議	昼食		分科会討議
	9:00	9:30	10:30	11:30	12:00	
8月4日（金） まとめの会 （3日目）	受付	大会報告	記念講演	閉会式		

- 9 参 加 者 公立小・中・特別支援学校事務職員 その他学校事務担当職員
教育委員会事務局職員及び教育関係者等

10 研究テーマ及び会場

【1日目】

全体会	会場	ロームシアター京都 メインホール	(定員 2,000名)
		サウスホール	(定員 700名)
		みやこめっせ (第2展示場B・C面)	(定員 500名)

※サウスホール及びみやこめっせ (第2展示場B・C面) はサテライト会場となります

【2日目】

本部研究分科会 (全事研本部)	テーマ 「未来を担う子どもをはぐくむ地域協働と学校事務」 ー子どもの育ちと地域づくりの好循環を生み出す 地区学校事務室・事務職員の役割ー	会場 ロームシアター京都 メインホール	(定員 1,100名)
第1分科会 (福岡支部)	テーマ 新しい実践への第一歩 ー学校経営参画のレシピー	会場 みやこめっせ (特別展示場)	(定員 180名)
第2分科会 (大阪小支部)	テーマ 大阪の学校事務のグランドデザイン ー子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する 学校事務の確立をめざしてー	会場 みやこめっせ (第2展示場A面)	(定員 300名)
第3分科会 (大阪中支部)	テーマ 提案型の学校事務職員をめざして ー子どもたちの学びを豊かにするチームの一員としてー	会場 ロームシアター京都 ノースホール	(定員 180名)
第4分科会 (兵庫支部)	テーマ 「あなたならどうする。」 ー研修の先にある「地域のなかの安全・安心な学校」ー	会場 みやこめっせ (第2展示場D面)	(定員 300名)
第5分科会 (奈良支部)	テーマ 学校事務を創る、挑戦からさらなる“しんか”へ ー笑顔あふれる学校づくり グランドデザイン「すまいる 奈良」で 子どもたちを「すまいる」にー	会場 みやこめっせ (第1展示場B面)	(定員 280名)
第6分科会 (和歌山支部)	テーマ 「きのくに和歌山プラン」 ー子どものすこやかな成長を保障する学校事務ー	会場 みやこめっせ (第1展示場A面)	(定員 280名)
第7分科会 (京都支部)	テーマ 京から発信! つなげる力・つながる心 ー京都方式の「学校間連携」と「地域とともにある学校づくり」ー	会場 ロームシアター京都 サウスホール	(定員 700名)

【3日目】

まとめの会	会場	ロームシアター京都 メインホール	(定員 2,000名)
		サウスホール	(定員 700名)
		みやこめっせ (第2展示場B・C面)	(定員 500名)

※サウスホール及びみやこめっせ (第2展示場B・C面) はサテライト会場となります

- 11 文部科学省行政説明 (文部科学省)
- 12 全体研究会 地域協働による学校づくりと地域づくり (全事研本部)
ー地域との協働を推進する事務職員の役割と学校事務の未来ー
- 13 大会報告 (全事研本部)
- 14 記念講演 演題 「清水寺の梵鐘」
講師 清水寺貫主 森 清範 師
- 15 大会参加費 5,000円

第49回全国公立小中学校事務研究大会（京都大会）

研 究 概 要

1 大会テーマとそのねらい

戦略領域「地域協働」 大会テーマ「地域協働による学校づくりと地域づくり」

第8次研究中期計画の4年次にあたる京都大会では、戦略領域である「地域協働」を軸に、より良い学校づくりの具現化に向けた研究を通して、ミッションである「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」を追究し、その実現を目指します。

現在、学校を取り巻く環境は複雑化・困難化しており、いじめや暴力行為等の問題行動の発生、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒の増加など、児童生徒へのきめ細かい対応が求められています。また、保護者や地域からの学校への要望の多様化に加え、社会的課題に対する教育の必要性もあり、学校が果たす役割はますます重要性を増しています。

一方、家庭に目を向けてみると、核家族やひとり親家庭、共働き世帯の増加など、家族形態の変容や家族のつながりの希薄化等を背景に、生活保護世帯の増加などの貧困問題の深刻化、児童虐待の増加など、家庭の教育力の低下が指摘されています。さらに地域社会においても、子どもと地域の大人とのかわりが薄れ、地域全体で子どもを見守り育てることが難しくなっています。また、都市化により地域社会のつながりや支え合いが希薄化する地域がある一方で、過疎化や高齢化により衰退・疲弊する地域も見られます。将来にわたって活力ある国と社会を維持するためには、国民一人一人の生活の基盤となる地域社会を活性化することが重要となります。

このように、学校・家庭・地域がそれぞれ課題を抱えているなか、学校と地域の連携・協働は、教育改革の柱の一つとして以前から推進されてきました。学校評議員制度や学校運営協議会制度の導入、学校関係者評価の制度化などにより、地域住民が学校運営に参画する仕組みが整えられてきました。また、平成18年に改正された教育基本法では、学校・家庭・地域住民等の相互連携・協力が条文に盛り込まれています。

そのようななかで発生した東日本大震災では、地域コミュニティにおける人の絆や、地域の礎としての学校の在り方が価値あるものとして見直されました。それを受け、平成23年7月に「学校運営の改善の在り方等に関する調査研究協力者会議」は「子どもの豊かな学びを創造し、地域の絆をつなぐ～地域とともにある学校づくりの推進方策～」を提示しました。この「地域とともにある学校」は第8次研究中期計画のベースとなっています。「地域協働」を戦略領域とする本大会では、改めて「地域とともにある学校」の必要性や、それを実現するための望ましい制度や仕組みについて理解を深めます。さらには、次の課題を整理し、地域協働における地区学校事務室と事務職員の役割や在り方、そのためのキャリア形成や能力開発について考えます。

- (1) 多様な主体との協働
- (2) 地域づくりの核となる学校の在り方
- (3) 地域協働を推進する地区学校事務室の在り方

日本で最初に、住民自らの手による学区制の小学校が生まれた京都で、改めて地域とともにある学校の在り方と、そこに果たす事務職員の役割を、全国の皆様と語り合しましょう。

2 全体研究会（１日目）

テーマ 「地域協働による学校づくりと地域づくり」
～地域との協働を推進する事務職員の役割と学校事務の未来～

戦略領域である「地域協働」を軸に、地域とともにある学校づくりを実現するための学校事務の在り方や事務職員の役割について追究します。

基調報告では、地域協働を推進する学校事務や学校事務組織の状況について、データや実践発表等から確認するとともに、本会が目指す学校事務の今後の方向性について参加者と共有する時間とします。また、パネルディスカッションでは、大きな変革期にある学校事務及び学校事務組織の今後の展望を、研究者・学識経験者、学校関係者等から示唆いただき、子どもの学びを支える「地域とともにある学校」の在り方、そこに果たす事務職員の役割について、参加者とともに考えます。

□ 基調報告

地域協働を推進する学校事務や学校事務組織の状況を、データや実践発表等から確認した上で、第8次研究中期計画に基づく「地域との協働を推進する学校事務の在り方」を参加者と共有します。

□ パネルディスカッション

研究者、地域協働にかかわる方等をパネリストに招き、地域協働による「学校づくりと地域づくり」の在り方と、協働を推進する事務職員の役割と学校事務の未来について参加者とともに考えます。

3 分科会テーマと概要（２日目）

大会2日目は分科会を行います。第8次研究中期計画の4年次、それぞれに積み重ねられた特色ある研究発表と討議が展開されます。

□ 本部研究分科会

本部研究開発部を中心に進めてきた大会テーマに基づく継続的な研究の提案発表を行います。本大会では、地域づくりの核としての学校の在り方について、地域協働における学校の役割を整理し、学校と地域がお互いに効果を実感し、子どもの育ちと地域づくりの好循環を生み出す仕組みづくりについて追究します。さらには、学校と地域をつなぐという視点から、地域とともにある学校づくりを推進する学校事務機能、地区学校事務室・事務職員の在り方について追究します。

□ 第1～7分科会

本大会では、開催地区である近畿地区から大阪小支部、大阪中支部、兵庫支部、奈良支部、和歌山支部、京都支部そして他地区からの応援として福岡支部にそれぞれ1分科会を担当していただきます。

各分科会では、「地域協働による学校づくりと地域づくり」の大会テーマの下、それぞれの支部で積み上げられた研究に基づく提案と、それを基にした研究討議が行われます。工夫を凝らした分科会運営によって、参加者が今後の実践につながるヒントを見出せるのではないかと期待しています。

※各分科会の提案概要は以降を御覧ください。

1 研究テーマ設定の理由

社会状況の変化とともに教育環境が複雑化・多様化するなかで、学校・家庭・地域は、目指す子ども像を共有し、未来を担う子どもをはぐくむ当事者として、それぞれの責任と役割を果たす地域協働が求められます。学校が地域の多様な主体とつながることは、子どもの学びの充実とともに、地域コミュニティの活性化などの相乗効果をもたらすと考えます。本分科会では、子どもの育ちと地域づくりの好循環を生み出す地域協働を軸とした学校づくりと、それを推進する学校事務機能及び事務職員の役割について追究します。

2 提案発表の骨子

「地域とともにある学校」への転換に向けて、地域協働を軸とした地域学校経営の在り方と、地域の目指す子ども像の実現に向けた地域教育課程の具体像について描きます。そして、そこに果たす学校事務機能や戦略的な地区学校事務室の役割と、これからの事務職員の在り方について提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案を行い、討議の柱にしたがって研究協議を行います。

4 分科会討議の柱

(1) 子どもの生きる力を育成する地域協働の在り方

(2) 地域協働を軸とした地域学校経営における地区学校事務室と事務職員の役割

5 参加者へのお願い

未来を担う子どもを育成する学校における地域協働の在り方、学校事務機能や事務職員の役割について、皆様の考えや具体的な実践など、積極的な発言をお願いします。

1 研究テーマ設定の理由

社会が複雑化・多様化する中で抱える様々な課題に対応するため、地域とともに学校が担うべき役割は大きくなっています。また、北九州市では平成29年度に権限移譲が行われ、北九州市を含む政令市の学校事務を取り巻く環境も大きく変化しています。これらの変化に対応するためには、学校事務の専門性を高めるだけでなく、学校組織の中での学校事務の在り方を変えることが必要です。そのため、本分科会では次世代の学校事務を担うための学校経営参画の方法や、新たな実践への足掛かりとなるよう、このテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

学校事務を学校経営参画という視点のもと再考するため、事務職員一人一人のコンピテンシー（行動特性）を集約・整理・分析していき、次世代の学校事務に必要なコンピテンシー・ディクショナリー（職種特性）と、実践へとつなげる手段としての実践集について提案させていただきます。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案の後、実践発表を行い、ミニ講義を受けてグループ討議を行います。

4 分科会討議の柱

(1) 次世代の学校を担う学校事務のコンピテンシー・ディクショナリー（職務特性）について

(2) 学校経営参画へ向けた新たな実践について

5 参加者へのお願い

分科会討議では、参加者同士の交流を通し、新たな実践について議論を深めていきたいと考えています。

第2分科会

大阪の学校事務のグランドデザイン

大阪小支部

ー子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する学校事務の確立をめざしてー

1 研究テーマ設定の理由

大阪府公立学校事務研究会では設立以来、学校事務の確立と学校教育の発展に寄与する事務職員の在り方について研究を行ってきました。現在、大阪ではベテランの退職と若手の増加が急激に進んでいます。これまで築いてきた大阪の学校事務を次の世代へとつなげていくために、過去の研究成果、そして時代の変化に対応した新たな大阪の学校事務の在り方を検討し、それらをまとめて新たな大阪の学校事務の指針としての「大阪の学校事務のグランドデザイン」の作成を進めています。「大阪の学校事務のグランドデザイン」を通して、これからの学校事務に求められる役割や学校事務組織の在り方、事務職員に必要な能力、力量形成について考えていきます。

2 提案発表の骨子

現在作成中の「大阪の学校事務のグランドデザイン」を中心に、これからの学校教育に求められる学校事務の在り方や事務職員の役割、必要な能力とその力量をどう形成していくかなど、大阪の実情や実践とともに提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案発表、グループ討議

4 分科会討議の柱

- (1) 子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する事務職員の役割について
- (2) 「チーム学校」や地域協働を進めていくための学校事務や共同実施の在り方について

5 参加者へのお願い

これからの学校事務や事務職員の役割についての考え、各県のグランドデザインの概要や活用方法、実践事例などの積極的な発言を期待します。

第3分科会

提案型の学校事務職員をめざして

大阪中支部

ー子どもたちの学びを豊かにするチームの一員としてー

1 研究テーマ設定の理由

学校の果たす役割が複雑化・多様化し様々な変化への対応が必要となる中、これまで以上に学校事務職員による積極的な学校経営への参画が求められていることから、大阪市立小中学校学校事務研究会（以下、市事研）では「提案型の学校事務職員」をテーマとして研究を進めています。

2 提案発表の骨子

市事研では研究テーマに基づき、各研究部員がそれぞれの所属において「提案」の実践に取り組んでいます。課題解決にまで至っていないケースなどもあり、実践の難しさを実感していますが、取組の中では学校の課題解決に向けた提案や業務改善を行うことができました。分科会では実践内容の報告を基に、提案型の学校事務職員に求められるものや、「協働」が学校教育のキーワードとなる中で、より良い学校教育の充実に向けて何ができるのか、などについて考えていきたいと思います。

3 分科会運営の形態

実践報告を含む提案発表及び助言者による講評、グループ討議等

4 分科会討議の柱

- (1) 積極的な学校経営への参画に向けて提案型の学校事務職員に求められるものについて
- (2) 地域との協働や様々なチーム学校のメンバーとの協働に向けて私たちができることについて

5 参加者へのお願い

有意義な分科会とするためには参加者の皆様の前向きな姿勢と協力が欠かせません。学校事務職員が提案や業務改善に取り組むためには何が必要か、皆様の日頃の実践例などもぜひお聞かせください。

第4分科会

「あなたならどうする。」

兵庫支部

－研修の先にある「地域のなかの安全・安心な学校」－

1 研究テーマ設定の理由

教育を取り巻く情勢、状況が目まぐるしく変化し、学校の課題も多様化、複雑化している昨今。学校事務職員は、様々な情報を収集し時勢を捉えつつ、更なる高みを目指して前進することが必要です。「学ぶ学校事務職員」をキーワードに、研修の在り方について研究を進めています。なかでも、「安全・安心な学校づくり」に着目し、学校の防災や地域とのつながりについて、研修を通して考えていくことを研究テーマとしました。学校事務職員の新たなステージの展開と可能性を導き出し、未来を生きる学校事務職員の姿を提案します。

2 提案発表の骨子

学校事務職員の研修モデルの提案並びに実践報告を行い、研修の在り方について研究発表を行います。

3 分科会運営の形態

午前 プレゼンテーションによる研究発表を中心とする

午後 パネルディスカッション、演習

4 分科会討議の柱

(1) 学校事務職員の資質向上、スキルアップについて

(2) 安全・安心な学校づくりに果たす役割について

5 参加者へのお願い

午後からは、安全・安心な学校づくりについて新しい形式の演習を行います。皆さまの積極的な御参加をお願いいたします。

第5分科会

学校事務を創る、挑戦からさらなる“しんか”へ

奈良支部

－笑顔あふれる学校づくり グランドデザイン「すまいる 奈良」で 子どもたちを「すまいる」に－

1 研究テーマ設定の理由

グランドデザイン「すまいる 奈良」の基本理念である「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」のために、これからの事務職員に求められる役割について研究してきました。学校事務をさらに深め（深化）、新しい役割を導き出し（新化）、次の一步を踏み出すこと（進化）が「学校事務を創る」ことであると考えテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

奈良県では、平成27年度に奈良県版グランドデザイン「すまいる 奈良」を策定し、「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」の具現化に向けて年次的に研究・研修を継続しています。「すまいる 奈良」の策定の経緯や、その活用実践例を報告します。また、私たち事務職員に求められている役割や職務内容と、実態として行っている内容にどのような違いがあるのかについて、アンケート調査を行いました。この結果も踏まえながら、私たちが考える学校における事務職員の果たすべき役割、求められる新しい役割としての「地域連携」について提案させていただきます。

3 分科会運営の形態

前半は講義形式、後半はグループ討議を行います。

4 分科会討議の柱

(1) 「チーム学校」の一員として学校経営を支える事務職員の果たす役割について

(2) 求められる新たな役割として、地域とともにある学校づくりに事務職員としてできることは何か

5 参加者へのお願い

果たす役割、求められる新たな役割について、また、地域とともにある学校づくりに事務職員としてできることは何かについて、実践例やアドバイス等をいただき、意見交流の場としたいと考えます。

第6分科会

和歌山支部

「きのくに和歌山プラン」

－子どものすこやかな成長を保障する学校事務－

1 研究テーマ設定の理由

和歌山県小中学校学校事務研究協議会（以下県事務研）は、平成29年度に発足65周年を迎えます。県教育委員会の官制研修が確立しないなか「自分たちの研修は自分たちの手で」という考えを基に発足し、事務実践を中心に据えた研修・研究を行ってきました。私たち事務職員を取り巻く環境がどのように変わっても、このスタンスを大切にしていくことが重要だと考えています。

県事務研では世代交代が進んでいます。若い世代に今後進むべき方向性を具体的に表した「目指す事務職員像」と新しい研究テーマを示し、県事務研が大切にしていきたいことを、どのように伝えていくべきなのか探っていきたいと考えています。

2 提案発表の骨子

全国公立小中学校学校事務研究大会兵庫大会（平成17年度）以降の県事務研の研究活動を振り返ります。また、今後の研究方針である「きのくに和歌山プラン」の解説を通じて「和歌山らしさ」を参加者に示していきます。

3 分科会運営の形態

提案発表 グループ協議Ⅰ、Ⅱ 助言者の講演会

4 分科会討議の柱

「子どものすこやかな成長を保障する学校事務」についての協議

5 参加者へのお願い

グループ協議では、参加者の研究会活動の状況や事務実践などについて意見交換をお願いします。

第7分科会

京都支部

京から発信！つなげる力・つながる心

－京都方式の「学校間連携」と「地域とともにある学校づくり」－

1 研究テーマ設定の理由

「地域協働による学校づくりと地域づくり」は京都市にとって昔から脈々と受け継がれてきた大きなテーマと言えます。このテーマに対して、私たち事務職員は、どのように貢献できるのか『京から発信！』どのように次代の学校教育・学校事務へつなげるのか『つなげる力』－京都方式の「学校間連携」と「地域とともにある学校づくり」－を展開し、その先にいる子どもたちの姿と学校・地域の『つながる心』を実感へとつなげます。

2 提案発表の骨子

「次代の学校、地域」の創生に向け、学校に求められていること、事務職員に求められていることを課題として明確にし、その解決に向けて事務職員はどのように働きかけるのか、京都方式の「学校間連携」と「地域とともにある学校づくり」の取組報告からこれからの学校事務を提案します。

3 分科会運営の形態

京都市の報告と提案について助言者より講評・助言をいただきます。及び参加者同士の協議等を交えます。

4 分科会討議の柱

- （１）チームとしての学校 ー事務職員に求められていることー
- （２）学校と地域の連携・協働の在り方 ー学校に求められていることー
- （３）これから目指す事務職員像 ーつなげる力・つながる心ー

5 参加者へのお願い

本分科会は皆様と一体となって学び合える場にしたいと考えます。協議では積極的な発言をお願いします。

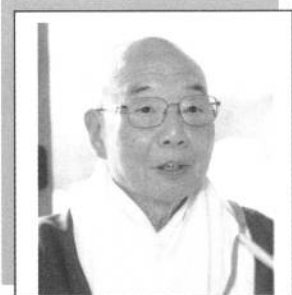
4 まとめの会（3日目）

大会3日間のまとめとして設定します。大会報告として、各分科会の研究討議の成果や本大会全般の研究成果・研究課題等を整理してお伝えするとともに、次期開催の50周年記念全国研究大会（千葉大会）の課題等を確認します。

5 記念講演（3日目）

演 題 「 清 水 寺 の 梵 鐘 」

講 師 森 清範（もり せいはん） 師



昭和15年7月8日：清水に生まれる
昭和30年4月：清水寺貫主 大西良慶和上のもと得度 入寺
昭和38年3月：花園大学卒業 真福寺住職
昭和63年4月：清水寺貫主：北法相宗（きたほっそうしゅう）管長就任
平成24年：宝性院（ほうしょういん）住職：洛陽三十三所観音霊場会会長：
文人連盟会長：社会福祉法人衆善会名誉顧問：希望大国いわて文
化大使：岩手県奥州市文化大使：東北震災支援『縁』プロジェクト顧問

本大会の記念講演では、「今年の漢字®」を揮毫されることで御高名の清水寺貫主（かんす）森 清範（もり せいはん）師に御登壇をお願いしております。

また、この度は御講演の中で、漢字を一文字揮毫いただけることとなりました。その優筆をぜひ心に留めていただければと存じます。

《著書》 ■「心を活かす」 ■「心に花を咲かそう」 ■「一口説法 心を練る」 ■「心を掴む」
■「心で観る」 ■「心に響く」 DVD（講談社） ■「人のこころ観音の心」 ■「命こそ仏さま」
■「見える命 見えないいのち」（日本ビジネスプラン）
■「一文字説法 観音のこころ」（佼成出版社） ■「清水寺まんだら」（春秋社）
■「水は知的生命体である」（風雲舎 共著）
■「こころの水」 ■「こころの幸」（角川マガジンズ）

（「今年の漢字」は公益財団法人日本漢字能力検定協会の登録商標です。）

* 揮毫いただく一文字を募集しています。応募期間は5月15日から6月15日までです。

本大会ホームページの参加申込み画面から御応募いただけます。

ぜひ学校事務の未来に向けた一文字を御応募ください。

** 1日目の昼食後、京都の伝統芸芸である登喜家の舞妓による舞を予定しています。

京都の「舞妓」は約300年前の江戸時代より東山周辺の水茶屋の茶立て女をルーツとして発祥し、舞を主な芸としています。お客様に元気を与え、何度も足を運んでいただけるように一人前の芸妓を目指して、「芸と人格」の双方を日夜磨いています。

京舞 井上流は、祇園甲部における唯一の流派であり、寛政年間（1789～1801）に近衛家の舞指南役を務めた井上サト（初代 井上八千代）が宮廷文化を基盤に創始しました。能楽の系統をひき少ない動きの一挙手一投足の中で豊かな表現を舞で表しており、お座敷舞とも言われています。

品格の高い宮廷風の舞を取り入れ、1200年の王城の地である京都の自然と風物によく溶け合い、今日では優雅で美しい京都の代表的な伝統芸能の一つとなりました。

また、舞妓が身に着けている着物や帯、簪等の衣装・装飾品は、京都の伝統工芸の「匠の技」が凝縮されています。

ぜひ皆様、京都の伝統芸芸の美しさ、艶やかさをお楽しみくださいませ。

全事研からのお知らせとお願い

◇総会について

全国研究大会に先立ち、次のとおり総会を開催いたします。関係の方々は定刻までに御出席ください。

[期 日] 平成 29 年 8 月 1 日(火) 受付 12 時 00 分 開会 12 時 20 分

[会 場] ロームシアター京都 サウスホール

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町 13

TEL075-771-6051

※地下鉄東山駅から徒歩 10 分です。

◇全事研加入の御案内

全事研は、学校事務の研究・研修の場です。未加入の方（団体）は、手続きをお願いします。

◎全事研加入に関する問い合わせ先

全国公立小中学校事務職員研究会 副会長 おぎの めぐみ 荻野 恵美

所属校 川口市立新郷南小学校

所在地 〒334-0074 埼玉県川口市江戸 3-12-1

TEL 048-281-5777 FAX 048-281-5442

実行委員会からのお知らせとお願い

■ 参加申込みについて

本大会は、Webによるお申込み（大会参加・弁当・宿泊）を原則とさせていただきます。

※ 弁当・宿泊の申込みは、(株)日本旅行 京都教育旅行支店との旅行契約になります。

○大会ホームページ <http://kyoto-zenjiken.jp/>

Web申込みできない環境にある場合のみ、FAXによる申込みを受け付けます。

参加分科会・宿泊は申込み受付順ですが、Web申込みを優先させていただきます。

FAXによる申込みの場合は、分科会の受付処理を受付期間終了日以降に行いますので、御希望の分科会に参加できない場合があります。

御希望の分科会に定員総数を上回る参加申込みがあった場合は、本部研究分科会に参加していただきます。あらかじめ、御了承ください。

1 受付期間 平成 29 年 5 月 15 日（月） ～ 平成 29 年 6 月 15 日（木）

※ 受付期間終了後の参加受付は、大会当日受付のみとなります。
（ロームシアター京都でのみ大会当日の参加受付を行います。）

大会には、発券（印刷）した「研究集録引換券」「分科会参加券」「弁当引換券」を必ず御持参ください。（申込みの手順及び発券期間は、14 ページを御確認ください）

2 大会参加の取消し（弁当・宿泊の変更等は以下の①②を参照してください。）

参加費支払後は、理由の如何にかかわらず、大会参加取消し及び参加費の返金はできません。
後日、研究集録を送付いたします。（送料着払い）

3 弁当・宿泊の変更等

- ① Webで申込まれた方は受付期間中はWebで、受付期間を過ぎた場合はE-mail又はFAXで手続きをしてください。電話による変更・取消は受付いたしません。
- ② 変更・取消にて生じた差額は、大会終了後に取消料・振込手数料を差し引いて返金いたします。
＜取消料＞

取消日	21 日前まで	20 日～ 8 日前まで	7 日～ 2 日前まで	前日	当日
弁当	無料	無料	無料	100%	100%
宿泊	無料	20%	30%	40%	100%

4 参加費等の送金 クレジットカード決済、コンビニ支払又は銀行振込にてお支払いください。
※ コンビニ決済手数料（コンビニ支払）・振込手数料（銀行振込）は各自で御負担願います。

【コンビニ支払】 ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・サークルKサンクス・セイコーマート（北海道地区及び関東地区）・デイリーヤマザキでお支払いが可能です。
各店舗でのお支払手順については、Web申込み画面で御確認ください。
※ 選択いただいたコンビニエンスストア以外での払込みはできません。
※ 表示されたお支払期日までに払い込んでください。

【銀行振込】 最寄りの金融機関より、次の口座に振込みをお願いします。
《振込先》 みずほ銀行 十五号支店
普通預金口座 3107388 （株）日本旅行
《振込期限》 申込終了後2週間以内に、振り込んでください。
※ 振込手数料は、各自で御負担願います。

【クレジット支払】 クレジットカードでの支払いは、Webの案内を御覧ください。

5 その他

- ① 手話通訳の希望、車椅子で参加される方は、大会申込みの際にお知らせください。詳細は、後日、E-mail又はFAXにて御連絡させていただきます。
- ② 申込みにあたっての個人情報については、本大会のみに利用させていただきます。

■ 研究集録の引換え

- 1 大会期間中、「ロームシアター京都メインホール受付」で引換券と「研究集録」を引き換えます。但し、2日目からの参加を申し込まれた方で、ロームシアター京都以外の分科会に参加される方には分科会場にて引き換えます。
- 2 当日不参加の方は、あらかじめ当日参加される方に引換券を預けていただき、代理受領をお願いします。受け取りがない場合は、後日、送料着払いで発送します。
- 3 資料参加の方は、大会参加の方に代理受領していただくか、後日、送料着払いで発送します。

■ 昼食について

1日目および2日目の弁当（お茶付き）を1食1,080円（税込）で斡旋します。

参加申込みの際に注文をしてください。弁当引き換えは、当日会場にて13:30まで行います。
必ず弁当引換券（紙ベース）を御持参ください。

※ ロームシアター京都周辺の飲食店は、観光地のため大変混み合う事が予想されます。
弁当を利用されることをお勧めします。

※ 当日の弁当注文については斡旋をしませんので、御了承ください。

■ 宿泊について

本大会では参加申込みの際に、宿泊等の受付を行います。

詳しくは14ページの「●Webによる申込み方法」を御覧ください。

交通については、

- 1 宿泊施設一覧は16、17ページを参照してください。詳細についてはWebで御覧いただけます。
1泊朝食付きの料金（税・サービス料込み）が基本です。
 - 2 シングルルーム以外で申し込まれる場合は同室希望の方の氏名も記入してください。
 - 3 FAXで申込まれた場合、御希望のホテルが満員に達した時は、他のホテルへの配宿を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。
 - 4 チェックインは原則として15:00から、チェックアウトは10:00となります。それ以外の場合は、追加料金が必要となることがあります。
- ※ 弁当・宿泊の申込みは、(株)日本旅行京都教育旅行支店との旅行契約になります。

■ 領収書について

宿泊費の領収書を希望される場合は、御入金後、申込みサイトより出力が可能です。

■ 交通・駐車場について

ロームシアター京都・みやこめっせ（全体会・分科会・まとめの会会場）

京都駅から地下鉄経由で約30分です。時刻表については京都市営地下鉄時刻情報「ハイパー地下鉄ダイヤ」で御確認ください。

また、バスを御利用の場合は、約35分です。詳細は15ページを御覧ください。

ロームシアター京都には駐車場はございません。公共交通機関を御利用ください。

■ 環境配慮について

本大会は環境に配慮して運営いたしますので、クールビズで御参加ください。また斡旋したお弁当以外のごみは各自でお持ち帰りください。

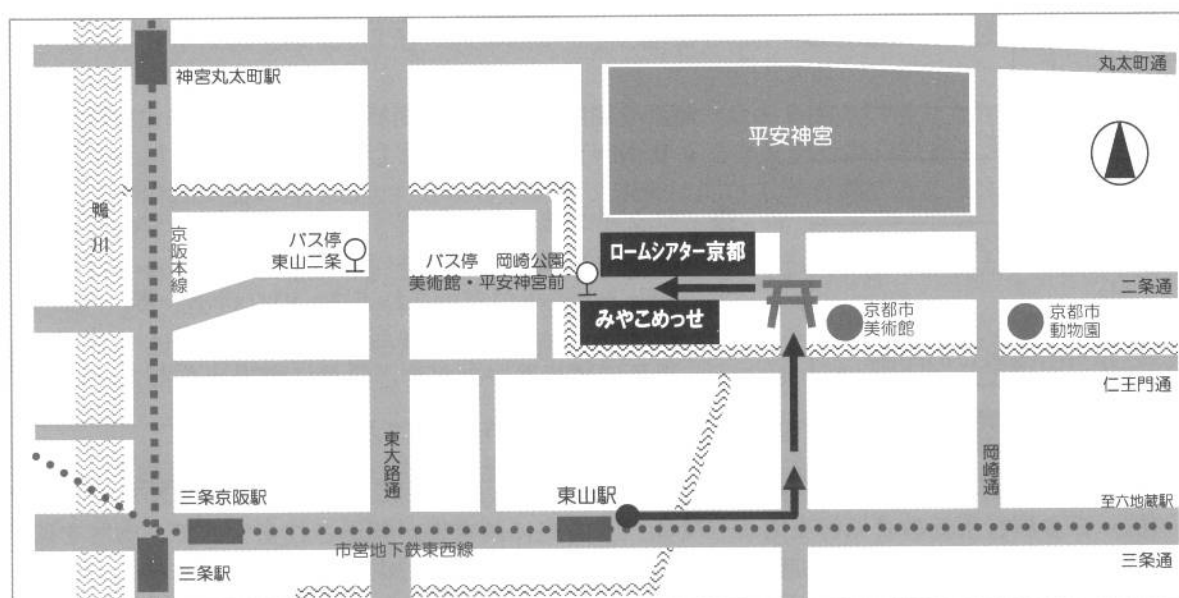
■ 録音等について

文部科学省行政説明及び記念講演の録音、録画、写真撮影は、一切行わないでください。

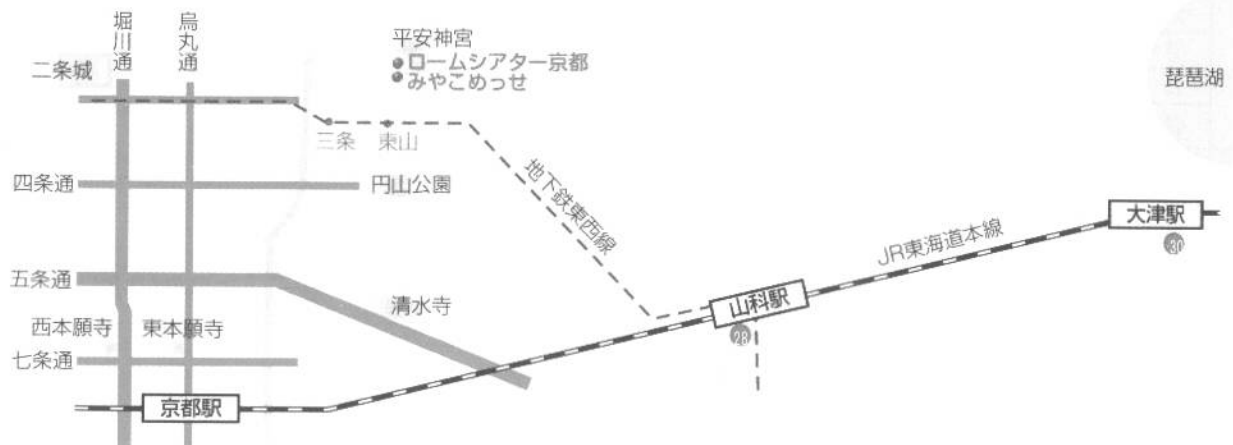
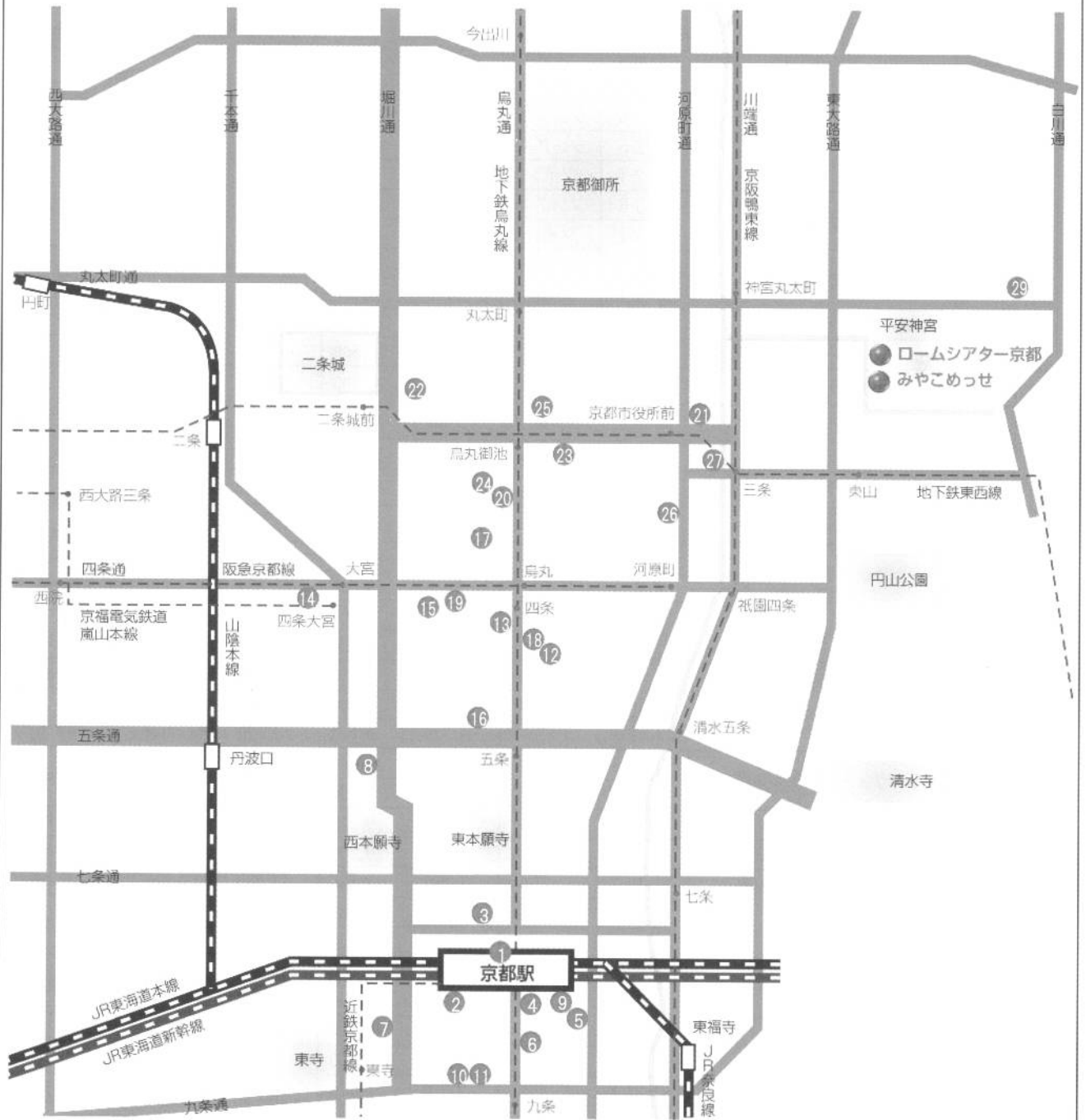
○ 会場一覧

会 場 名		会 場 案 内
ロームシアター京都 メインホール	全体会 本部研究分科会 記念講演 まとめの会	京都駅から ・京都市営地下鉄（烏丸線）から京都市営地下鉄（東西線）へ「烏丸御池」にて乗り換え「東山」約 20 分片道券 260 円 下車徒歩 10 分 ・京都市営バス 5 系統または 100 系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」約 30 分片道券 230 円 下車後徒歩 5 分 ※「ロームシアター京都」と「みやこめっせ」は隣接した会場で移動は徒歩 1 分程度となります。
ロームシアター京都 サウスホール	サテライト会場 第 7 分科会 (京都支部)	
ロームシアター京都 ノースホール	第 3 分科会 (大阪中支部)	
みやこめっせ 特別展示場	第 1 分科会 (福岡支部)	
みやこめっせ 第 2 展示場 A 面	第 2 分科会 (大阪小支部)	
みやこめっせ 第 2 展示場 D 面	第 4 分科会 (兵庫支部)	
みやこめっせ 第 1 展示場 B 面	第 5 分科会 (奈良支部)	
みやこめっせ 第 1 展示場 A 面	第 6 分科会 (和歌山支部)	
みやこめっせ 第 2 展示場 B・C 面	サテライト会場 昼食会場	

会場周辺案内図



市内案内図



○ 宿泊の御案内

8月1日(火)、2日(水)、3日(木)

表示料金は1泊朝食付き税サービス料込みのお一人様あたりの料金です。(※朝食不要の場合も同料金)

エリア	地図 番号	宿泊施設名	申込 記号	部屋 タイプ	宿泊料金			最寄駅
					8/1(火)	8/2(水)	8/3(木)	
京都駅前	①	ホテルグランヴィア京都	1-S	シングル	24,840	24,840	24,840	新幹線/JR/地下鉄京都駅直結
	②	新・都ホテル	2-S	シングル	16,200	16,200	16,200	京都駅八条西口 徒歩5分
			2-T	ツイン	9,720	9,720	9,720	
	③	京都新阪急ホテル	3-S	シングル	16,200	16,200	16,200	京都駅烏丸中央口 徒歩3分
			3-T	ツイン	—	12,960	12,960	
	④	ホテル京阪京都グランド	4-S	シングル	11,880	11,880	11,880	京都駅八条東口 徒歩1分
			4-T	ツイン	9,720	9,720	9,720	
⑤	アルモントホテル京都	5-S	シングル	18,360	18,360	18,360	京都駅八条東口 徒歩5分	
⑥	ダイワロイネットホテル京都八条口	6-S	シングル	10,800	10,800	10,800	京都駅八条東口 徒歩4分	
駅付近	⑦	京都プラザホテル	7-S	シングル	9,720	10,800	10,800	京都駅八条西口 徒歩8分 近鉄京都線東寺駅 徒歩3分
	⑧	京都東急ホテル	8-S	シングル	12,960	12,960	12,960	地下鉄烏丸線五条駅 徒歩10分 京都駅八条口よりシャトルバスにて10分
	⑨	ホテルセントノーム京都	9-S	シングル	11,880	11,880	11,880	京都駅八条東口 徒歩2分
	⑩	グリーンリッチホテル京都駅南	10-S	シングル	10,800	10,800	10,800	京都駅八条西口 徒歩8分 地下鉄烏丸線九条駅 徒歩2分
	⑪	京都第一ホテル	11-S	シングル	10,800	10,800	10,800	京都駅八条西口 徒歩6分 地下鉄烏丸線九条駅 徒歩2分
京都中央南	⑫	ホテル日航プリンス京都	12-S	シングル	18,360	18,360	18,360	地下鉄烏丸線四駅 徒歩3分
			12-T	ツイン	—	10,800	10,800	阪急京都線烏丸駅 徒歩5分
	⑬	からすま京都ホテル	13-S	シングル	10,800	10,800	10,800	地下鉄烏丸線四駅/ 阪急京都線烏丸駅 徒歩3分
			13-T	ツイン	—	9,720	9,720	
	⑭	アークホテル京都	14-S	シングル	9,720	9,720	9,720	阪急大宮駅/嵐電四条大宮駅 徒歩1分
	⑮	三井ガーデンホテル京都四条	15-S	シングル	11,880	11,880	11,880	地下鉄烏丸線四駅/ 阪急京都線烏丸駅 徒歩6分
			15-T	ツイン	9,720	9,720	9,720	
	⑯	アランヴェールホテル京都	16-S	シングル	10,800	10,800	10,800	地下鉄烏丸線五条駅 徒歩2分
			16-T	ツイン	—	9,720	9,720	
⑰	ヴィアイン京都四条室町	17-S	シングル	9,720	9,720	9,720	地下鉄四駅/阪急線烏丸駅 徒歩3分	
⑱	ダイワロイネットホテル京都四条烏丸	18-S	シングル	10,800	10,800	10,800	地下鉄四駅/阪急線烏丸駅 徒歩1分	
⑲	ホテルユニゾ京都四条烏丸	19-S	シングル	11,880	11,880	11,880	地下鉄四駅/阪急線烏丸駅 徒歩3分	
京都中央北	⑳	ホテルモンテ京都	20-S	シングル	11,880	11,880	11,880	地下鉄烏丸御池駅 徒歩2分
			20-T	ツイン	—	9,720	9,720	
	㉑	京都ホテルオークラ	21-S	シングル	18,360	18,360	18,360	地下鉄東西線京都市役所前駅直結
			21-T	ツイン	—	16,200	16,200	
	㉒	ANAクラウンプラザホテル京都	22-S	シングル	16,200	16,200	16,200	地下鉄東西線二条城前駅 徒歩2分
			22-T	ツイン	10,800	10,800	10,800	
	㉓	ホテルギンモンド京都	23-S	シングル	9,720	9,720	9,720	地下鉄烏丸御池駅 徒歩2分
	㉔	三井ガーデンホテル京都三条	24-S	シングル	10,800	10,800	10,800	地下鉄烏丸御池駅 徒歩1分
			24-T	ツイン	—	9,720	9,720	
	㉕	ハートンホテル京都	25-S	シングル	12,960	12,960	12,960	地下鉄烏丸御池駅 徒歩2分
㉖	ホテルビスタプレミアオ京都「河原町通」	26-S	シングル	16,200	16,200	16,200	地下鉄京都市役所前駅 徒歩5分	
㉗	ロイヤルパークホテル ザ 京都	27-S	シングル	16,200	16,200	16,200	地下鉄東西線京都市役所前駅/京阪本線三条駅 徒歩3分	
東山	㉘	ホテルブライトンシティ京都山科	28-S	シングル	9,720	9,720	9,720	JR 山科駅/地下鉄東西線山科駅 徒歩1分
	㉙	ホテル平安の森京都	29-S	シングル	16,200	16,200	16,200	地下鉄東西線嵯峨上駅 徒歩14分
29-T			ツイン	10,800	10,800	10,800	京都駅八条東口シャトルバスにて30分	
大津	㉚	ホテルテトラ大津、京都	30-S	シングル	—	9,720	9,720	JR 大津駅南口 徒歩2分
			30-T	ツイン	—	9,720	9,720	

※上記以外の宿泊先もホームページにて随時掲載予定です。

※FAXでのお申込みの際は、必ず申込記号を明記してください。

「第49回全国公立小中学校事務研究大会(京都大会)」FAX専用参加申込書

宛先：日本旅行京都教育旅行支店 担当 小宮 行 **FAX:075-252-3122** (枚中 枚)

(TEL:075-223-2315 Email: zenjiken_2017@nta.co.jp)

下記に必要事項を御記入頂き、FAXにてお送り下さい。

申込締切日:2017年6月15日(木)

申込日 月 日

都道府県	フリガナ		フリガナ	
	学校名 (所属先)		申込者	
住所 (回答先)	(□自宅 □所属先) 〒 -			
	TEL		FAX	
	携帯		Email	

研究収録 受取場所	☐ 全体会場 ☐ 分科会場
--------------	---

参加希望 分科会	分科会名	集録のみ希望	※希望分科会が定員を上回った場合、本部研究分科会へ 参加いただくこととなります。

※ 希望分科会名は、本部研究分科会は「本部」、第1分科会は「1」(以下同様)と記入してください。

※ 集録のみ希望される方は、送料着払いにて送付いたします。

宿泊	8月1日(火)	8月2日(水)	8月3日(木)	同室者氏名・学校名
第1希望	記号	記号	記号	
第2希望	記号	記号	記号	

弁 当 (お茶付) 1,080 円	8月2日(水)	8月3日(木)	大会参加券等受領代表者名
	☐ 申し込む ☐ 申し込まない	☐ 申し込む ☐ 申し込まない	

連絡事項	☐ 手話通訳を希望	☐ 車椅子を使用
	☐ その他 ()	

【お客様の個人情報の取扱について】

①本書面でお送りいただきました個人情報につきましては、連絡のために利用させていただくほかお申込みいただいた旅行において宿泊施設(機関)等の提供するサービスの手配および受領のための手続きに、また当該大会の円滑な運営のために必要な範囲内で利用させていただきます。

②その他、当社の個人情報の取扱につきましては当社ホームページ(<http://www.nta.co.jp>)を御覧ください。

③個人情報の取扱に関する問い合わせは下記担当までお願いします。

株式会社日本旅行京都四支店 担当：小宮 健司 TEL:075-223-2315

※申込上の留意事項

- Web申込みできない環境にある場合のみ、FAXによる申込みを受け付けます。
- 受領代表者は、大会参加者に限ります。
- 個人参加の場合は、受領代表者＝申込者となります。
- 大会参加券・各種利用券は、受領代表者の方宛にまとめて送付します。
- 請求書は、参加者ごとに費用明細が記入されます。(送金は極力まとめてください。)
- 受領代表者名が無記名の場合は任意で選ばせていただきます。
- 領収証を希望される方は、「連絡事項 その他」の欄にその旨を御記入ください。

京から明日～古都から奏でる未来～



全国公立小中学校事務職員研究会
URL: <http://zenjiken.jp> E-mail: info@zenjiken.jp